

Vol.101

農政局だより@ひょうご

2024.8
H-SATT

〒650-0024

神戸市中央区海岸通29 神戸地方合同庁舎

TEL:078-331-5924 Email:hyogo28_hsatt_kinki@maff.go.jp



「ノウフク・アワード2024」募集しています！

農林水産省は、農福連携に取り組んでいる優れた事例をノウフク・アワードとして表彰し、他地域への普及を推進しています。

ノウフク・アワード2024では、これまでノウフクを実践してきた人々や様々な取り組みに光を当てて、その事例を発掘・表彰します。そして、農福連携の輪を拡大し、新たな知恵や気づきを社会に発信していくことを目指します。

募集期間：令和6年7月26日（金）～ 9月30日（月）

「ノウフク・アワード2024」の詳細はこちら

https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kouryu/240726_16.html



みんなで耕そう！ 人・地域・未来の豊かな循環

ノウ（自然、農林水産業）

×

フク（人、福祉）



「農福連携等推進ビジョン（2024改訂版）」について

農福連携は、農業と福祉が連携し、障害者の農業分野での活躍を通じて、農業経営の発展とともに、障害者の自信や生きがい創出し、社会参画を実現する取組です。

地域に生きる一人ひとりの社会参画を図るため、高齢者、生活困窮者、ひきこもりの状態にある者、犯罪をした者等の社会的に支援が必要な者にも対象を広げ、また、林業、水産業と福祉の連携に広がっていくことも重要とされています。

農福連携等を通じて、全ての人々が地域で暮らし、多様な形で社会に参画し、生きる力や可能性を最大限に発揮できる地域共生社会の実現に貢献するとともに、本ビジョンに掲げられた取組を官民挙げて実践してまいります。



農産加工研修



養殖籠補修



木工技術習得



人材育成研修



移動式トイレ導入

「農林水産省ホームページ」

「農福連携等推進会議」と「農福連携等推進ビジョン」（2024改訂版）（本文と概要）

※当該ホームページはこちら

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kouryu/noufuku/suisin_kaigi.html





先端技術を活用し「幸せを生む農業」を実践！ ＜加西市 よしよし畑株式会社 久世 継義さん＞



加西市でトマトやトウモロコシなどの園芸作物を栽培している、よしよし畑の久世継義さんにお話を伺いました。

ー就農したきっかけは？ー

元々はサラリーマンでしたが、都市近郊農業に大きなビジネスチャンスを感じ、新しい栽培技術とデザイナーでもある妻のデザイン能力を合わせれば、野菜でもっと世の中を幸せにでき、儲かる農業を実践できると思いました。

また、農業には販売力が必要で元商社マンとしての営業活動に自信があったことも就農への後押しとなりました。

ーどのような取組みをされていますかー

就農時に整備したハウスに複合環境制御システムを導入し、土壌水分量・EC値・地温を計測・記録し、スマートフォンでいつでも情報を見られるようにしています。さらに同システムと1kmメッシュの天気予報データを連動させて、むこう1時間の蒸散量を計算し自動灌水するなどの省力化に取り組んでいます。

地域とのかかわりを大切にしたいと考え、自分たちが地域の役に立つ存在になれるように心がけ、地域の協議会の会長に就任したり小学生の社会見学や農業体験などを受け入れています。

ー今後の展望は？ー

農業でも他の産業と同様に原理原則を守って実践していけば売上は大きく伸ばせるはずと考えています。

チームとして誇りを持って、農業者や社内だけでなく、関わる全ての人々とのパートナーシップを大切にいき、規模拡大と売上げの向上を目指しています。



画像上：ビニールハウス(トマト)
画像下：露地でナスやトウモロコシを栽培



真っ赤に熟れたトマト
都市近郊なので完熟してから収穫できます

みずみずしい
長ナス



【よしよし畑】美味しい野菜で食べてくれる人を幸せにすることにフォーカスしたいと思い、食べてくれる人も、育つ野菜にとっても「よしよし」という想いを込めている。

ジュニア農林水産白書2024年版が公表されました！

◆ジュニア農林水産白書の使い方◆

- ① 夏休みや冬休みの自由研究に
- ② 家庭学習の時に
- ③ みんなで壁新聞を作る時にぜひ活用してください。



← 本資料を使っての
ご意見・ご感想をお聞かせください。



詳しくは https://www.maff.go.jp/j/wpaper/w_junior/

人が魚を育てる方法もあるよ！

人が魚を育ててとる方法を養殖ようしよくといいます。日本では、いろいろな魚や貝、海藻かいそうの養殖ようしよくをしています。

人に育てられた魚たちをとる方法もあるのね。

養殖ようしよくをしている主な水産物

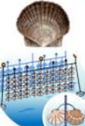
ハマチ(ブリ)



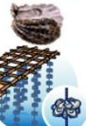
タイ



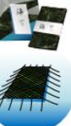
ホタテガイ



カキ



ノリ



ジュニア農林水産白書の水産業

日々の農作業等が忙しくて健康管理がおろそかになっていませんか？



健康な状態で農作業をするためには、自らの健康状態を知るための健康診断、がん検診が重要です！

良い作物を作るためにも私たちが健康でいることが、大切だということですね！



※ご家族の皆様のご健康のため、以下のチラシをご覧ください。

【健康診断チラシ】→ https://www.maff.go.jp/j/keiei/nougyou_jinzaiikusei_kakuho/attach/pdf/index-9.pdf

【がん検診チラシ】→ https://www.maff.go.jp/j/keiei/nougyou_jinzaiikusei_kakuho/attach/pdf/index-10.pdf



「農業の生産性の向上のためのスマート農業技術の活用に関する法律」について説明会を開催します！

当該法律についての説明、意見交換を行いますので、参加者を募集します。

近畿農政局兵庫県拠点 開催日時及び会場

日時：令和6年9月12日(木)14時～15時30分【締切9月4日(水)】

場所：神戸市中央区海岸通29番地
神戸地方合同庁舎 1階第4共用会議室

定員：＜会場＞80名、＜オンライン参加＞300名

詳しくは <https://www.maff.go.jp/kinki/press/kankyo/240813.html>



【お問合せ先】

農林水産省 近畿農政局
生産部生産技術環境課
TEL：075-414-9722



環境保全に配慮した農業に取り組む農家さんのご紹介

丹波市 丹波みやざきふあーむ 宮崎 徹さん、早織さん

— 美味しいを探求！野菜の魅力を届けます —

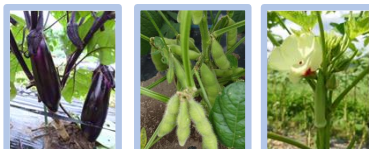
丹波市で農薬や化学肥料を使用せず野菜の栽培を行う宮崎さんご夫婦は、滋賀県出身の徹さんが2004年に、大阪府出身の早織さんが2009年に移住し、農業を始めました。

元々“食”に興味があった早織さんは、徹さんの作る野菜の味に感動し結婚。お二人とも非農家出身でありながら、自身で農業を勉強し、現在は年間50～60品種の野菜を栽培しています。

栽培する野菜の選定は、様々な品種を調べて栽培のしやすさよりも味を重視して、自分たちが納得したものを栽培するようにしています。



宮崎さんご夫婦



畑には夏野菜がずらり



農業体験のようす

収穫した野菜は、京阪神の飲食店への配送、個人宅配や地元スーパーで販売しており、月1回の百貨店でのマルシェ出店で、直接、お客さまから「野菜が美味しい」との言葉をいただくことが励みになっているそうです。

食育を兼ねた農業体験として、学生さんや親子連れを受け入れ、収穫などの作業を通じて農業を身近に感じてもらう活動も行っており、お二人の頭の中はまだまだやりたいことのアイデアでいっぱいです。

今後もさらに色々な野菜を探求し、みなさまに“美味しい”を届けていきたいとお話されていました。

丹波みやざきふあーむInstagramはこちら→

《経営概況》

経営面積 1.4ha
丹波太ねぎ、
ちぢみほうれん草、
カラフルにんじん、
なす、ピーマン、
枝豆、島オクラ 等



ひめじ帰農塾

～農業を学んで、めざせ新規就農！生涯現役～



ひめじ帰農塾は、姫路市農業振興センターが定年帰農者や若手就農希望者等を対象に開催している農業研修です。

新たな農業の担い手を育成し、地産地消を推進するとともに、生涯現役社会の実現及び地域農業の担い手育成を目的に開催されており、講義のみの「座学コース」、実習を行う「野菜コース」、「果樹コース」、「花苗・鉢花コース」の計4コースを設け、年間を通じて農業研修を実施しています。

実習コースは姫路市内在住または市内に耕作地がある方が対象ですが、座学コースは播磨圏域8市8町を対象として受け入れを行っており、農業を始めたい方からさらに技術を磨きたい方、日々の栽培に関する疑問を解消したい方等を対象に、将来の直売所出荷も想定した、専門講師による研修を受講できます。

個人の受講希望だけでなく、農業参入を希望する企業の社員や、営農組合の職員、福祉施設の農場担当者等、可能な限り幅広い方々を受け入れ、地域の農地を維持できるような取組を行っていききたいとのことです。



応募先：姫路市農業振興センター
姫路市山田町多田1174-47
※令和6年度の募集は終了しています。

お問い合わせ：電話079-263-2220
受付時間：平日 午前9時～午後5時



！募集中！

※ 詳しくは、以下の「URL」・「二次元コード」からホームページでご確認ください

【第2回高校生とつながる！つなげる！
ジーニアス農業遺産ふーどコンテスト】 締切 9/30 (月)



<https://www.maff.go.jp/j/pres/s/nousin/kantai/240701.html>

【食と農をつなぐ
朝ごはんコンテスト2024】 締切 10/31 (木)

https://www.maff.go.jp/kinki/press/syouhi/seikatu/240531_23.html



【第9回ジビエ
料理コンテスト】 締切 11/29 (金)



<https://www.maff.go.jp/j/pres/s/nousin/tyozyu/240710.html>

【令和6年度「家畜衛生
ポスターデザインコンテスト」】 締切 9/30 (月)

<https://www.maff.go.jp/j/pre/ss/syouan/douei/240702.html>



お知らせ！
8月31日
は野菜
831やさい
の日です。
野菜をたく
さん食べま
しょう！

地 方 参 事 官 ホ ッ ト ラ イ ン

農政に関するご相談、事業や制度へのご意見・ご質問などがございましたら、お気軽に地方参事官ホットラインまでお問い合わせ下さい。また、広報誌に対するご意見等もお待ちしています。

TEL : 078-331-5924 Email:hyogo28_hsatt_kinki@maff.go.jp